

## Design Visions

システム思考とデザイン思考による価値創出

～宇宙システムからコミュニティシステムまで～

日時：2014.12.15(月)

場所：京都大学総合研究2号館3階北東角大演習室1

講演者：神武 直彦 准教授（慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科）

本フォーラムでは慶応大学システムデザイン・マネジメント研究科（以下 SDM）准教授の神武先生にご講演頂いた。講演では、先生のバックグラウンドである宇宙開発事業からコミュニティシステムのデザインに至った経緯、SDMでの活動や、システム思考×デザイン思考について、時間の許す限り事例紹介を交えてお話し頂いた。講演は慶応 SDM のご紹介から始まったが、SDM は複雑に絡みあった社会課題の解決を目指しており、その点は京都大学デザインスクールの理念と重なっている。講演の題名にもあるように、課題をシステムとして俯瞰的に捉えながらもしっかりと設計（デザイン）のできる人材像としての「木をみて森もみる」という言葉は SDM の特徴を体現しているように感じた。その後、ビジネススクールとデザインスクールの違いを踏まえた上で、両者の強みであるシステム思考とデザイン思考を掛け合わせることで何ができるか、という議論に移っていった。今回は京大デザインスクールでの講演ということもあり、システムエンジニアリングについてその定義や活動についてご説明頂いた後、SDM で大切にされている V&V、verification(検証)と validation（妥当性検証）の考え方についてお話いただいた。次に活動の実例を幾つかご紹介いただいたが、中でも、衛星を用いて津波に関する情報を被災地域の住民の状況に合わせて送信するシステムのプロトタイピングの完成度は高く、私たちがこれからデザインスクールで活動していく上で、大変よい刺激となった。



最後に、人と人がつながるシステムをどのように作るか、またユーザだけではなく、ユーザを取り巻く社会まで考慮して広い視野でデザインするという観点から、コミュニティシステムについてお話をいただいた。SDM が主催している、G 空間未来デザイン（地域課題を解決するための地理空間オープンデータを用いた アイデアソン、ハッカソン、マーケソン）や Our future など、ユーザを巻き込んだフューチャーセッション・プラットフォームをご紹介いただき、講演のまとめとして、様々な社会問題（特に自然、人工災害、健康）の解決に、システム思考とデザイン思考を掛け合わせていくことの可能性、また、イノベーションの主役は技術ではなく人であり、コミュニティであるという先生の想いをお聞かせ頂いた。先述した通り、慶応 SDM は京大デザインスクールの理念と重なる部分もあり、本講演では参考になるお話を多く伺うことができた。